

～ しばかし社会科通信 ～

総選挙学校模擬投票特集 38号

2009年10月20日 芝浦工大柏中学高等学校社会科

～ 中一 74%、中二 66%、中三 70%、高一 74%、高二 72%、高三 85% ～
投票率 77.1% 過去最高、自民 1 位 42%

7月29日に法制審議会答申で18歳選挙権導入方針が出て、若者が真剣に投票できるかと、NHKに本校が取材されて9時のニュースで放送されて注目された。8月末夏休み明け直後にもかかわらず投票率は過去最高。特に高三の85%がすごく、夏休みに中高生が関心を持っていたことがわかった。結果は自民党が第一党となり、『朝日』新聞の9/18「窓」欄に「生徒たちの政権選択」として取り上げられた。7月の政党支持アンケートでは民主党がトップだったので、夏休みに自民党が逆転したと言える。高校や高速道路の無料化というマニフェストに対する批判が強かったようである。

大人の投票率は前回より上がったものの期待されたほどではなかった。おそらく20代の若者は50%ほどの投票率と予想される。

大人では民主党が得票42%で圧勝し、政権交代が実現した。「宇宙人」と言われる鳩山由紀夫首相の動向とともに、幸夫人の風変わり発言も話題を呼んで、一カ月後の支持率は70%近くのものである。

中高生の感想から

- 高三) 文句ばかり言う政治家が多い。具体的な政策を発言できないなら、そんな政治家必要ない。
- 高三) 一番無理なく国政が出来るようなマニフェストの政党を選びました。高校の授業料無償化したら経済が破綻するのでは。
- 高三) 理想ばかりの政党はダメ。もっと直接人々にかかわるような政治をしてほしい。
- 高二) 安心して投票できる政党が少ないと思う。マニフェストを実現できるだけの力が政治には欠如している。
- 高二) マニフェストと最近の政党の動きを見て決めました。政権が一度変わるとどうなるか気になるのでそこも考慮しました。
- 高一) 国立大学の入学金をただにしてほしい。税金の無駄使いをなくして、公共設備を整備してほしい。
- 高一) 「模擬」という割には本当に選挙している気分だ。
- 高一) 自民党以外ならどこでも良かった。良い結果になるかは別に、政権を交代してどうなるかを試したい。
- 中三) ニュースや親の話を聞いて投票しました。バラマキよりも保育園の問題にお金を使ってください。
- 中三) 自分のことしか考えていない政党はやめました。

政党	未成年「模擬」衆議院選挙2009開票結果											投票率
	民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	みんなの党	国民新党	新党日本	改革クラブ	幸福実現党	新党大地	
中学 (得票率)	119 37.8%	120 38.1%	8 2.5%	26 8.3%	14 4.4%	13 4.1%	4 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 3.2%	1 0.3%	70.2%
高校 (得票率)	207 32.9%	281 44.6%	19 3.0%	31 4.9%	26 4.1%	24 3.8%	8 1.3%	1 0.2%	5 0.8%	24 3.8%	4 0.6%	80.9%
芝柏計 (得票率)	326 34.5%	401 42.4%	27 2.9%	57 6.0%	40 4.2%	37 3.9%	12 1.3%	1 0.1%	5 0.5%	34 3.6%	5 0.5%	77.1%
模擬選挙	39.4%	31.2%	4.4%	7.1%	6.9%	4.1%	1.9%	0.6%	0.6%	3.5%	0.5%	
全国計	42.4%	26.7%	11.4%	7.0%	4.3%	4.3%	1.7%	0.8%	0.1%	0.7%	0.6%	69.3%

民主党 308 議席獲得、社民・国民と連立へ

民主党は小選挙区で現憲法後政党として最大の 3347 万票を獲得、記録づくめの勝利となった。社民7、国民3、民主系無所属2とあわせて 320、衆議院で 2/3 以上の議席を確保。自民党は 119 と半減以下、公明党も 21 と 10 減だった。民主党は比例区で候補者が足りなくなり、2 議席を自民公明に配分。当選者の半分近く 143 人が新人で、平均年齢は 46 歳、このうち 84 人に政治経験がほとんどない。

政権交代 民主鳩山政権で政策決定が変わる

9 月 16 日午後、衆参両院での首相指名選挙の結果、鳩山由紀夫氏が民主・社民・国民新党などの支持を得て両院で過半数の票を獲得し、首相に指名された。直ちに組閣をして民主党を中心に社民党と国民新党の代表を含めた連立の新内閣が発足した。それからほぼ 1 か月がたった。野党自民党は 9 月 28 日の総裁選で、谷垣禎一氏が総裁となっている。

鳩山首相は指名後の記者会見で「**脱官僚政治**」の決意を強調、子ども手当などの家計刺激策を最優先すると表明。この財源を「無駄遣い一掃」で生み出すため、無駄遣い削減をする「行政刷新会議」や予算編成の基本方針を策定する「国家戦略室」をつくった。また、省庁の動きが大きく変わり、大臣・副大臣・政務官の「**政務三役**」が政策の立案・決定をするようになった。今までの大臣は、官僚が立案するのに従っているだけ、各省庁のトップ官僚が内閣の決定前に決めていたのである。その会議である**事務次官会議**が、百年の歴史を終えて廃止された。

鳩山外交デビュー CO2 削減を世界に宣言へ



首相は 9 月 21 日夕日本を出発し、26 日帰国までの間、ニューヨークでの国連総会やピッツバーグでの金融サミットに参加。国連気候変動サミットでは、日本の

温室効果ガス排出量削減の中期目標を「2020 年までに 1990 年と比べて **25%削減**する」と表明し、途上国の温室効果ガス削減支援などを提唱した。首相は英語で演説し、米国や EU を上回る野心的な目標を達成するため、「あらゆる政策を総動員する」と述べ、率先した削減の先頭に立つと述べて注目を集めた。また、10 月 10 日は日中韓首脳会議で、東アジアの新しい枠組みをめざす「**東アジア共同体構想**」を長期目標とすることで合意するなど、鳩山外交が好発進しているように見える。

前途に難問が山積み ダムの建設中止

長い自民党政治の下で、必要性が減ったのに続けられた公共事業や補助金行政の無駄遣いを改め、マニフェストに掲げた公約を実現するのは容易でない。その中で象徴的な問題が「ハツ場(やんば)ダム」(群馬県長野原町)の建設中止問題である。地元から「なぜ、いまさら」と強い反対の声が上がった。しかし、前原国交相は「水害対策」「首都圏への水供給」という 50 年以上前に設定された意義を否定、「無駄な大型公共事業の代表」と位置づけ、自治体に事業費を返還しても支出が減るとしている。

今後は、大不況下での税収不足の中、来年度予算で子ども手当や中小企業への支援、雇用増大などの公約を実現できるかが正念場となる。優先度を考えた着実な取り組みができるかが問われる。

新内閣の要は「理系脳」、課題は表現力？

鳩山内閣は、中心人物が理系出身者という初の本格的「理系内閣」だ。鳩山首相は東大工学部卒業、米国の名門スタンフォード大に留学して博士課程を修了、専修大助教授を務めた。初当選時のキャッチフレーズも、「夢をかたちに、今、政治を科学する」だった。平野博文官房長官は中央大理工学部卒。菅直人国家戦略相も東大大理工学部で応用物理学を学んだ。「鳩山 平野 菅」ラインはいずれも理系出身者である。文系出身者が主流の政界にあって、「理系脳」は政治判断や政権運営にどのような影響を及ぼすのか。データ重視で、複雑な難問を創造的に解決してくれることを期待したい。